

健康の ススメ

今回のドクター

医学博士
古嶋 博司



テーマ その雑音、気になりませんか？

人間にも雑音が生じることをご存じですか？
おしゃべりな人、という意味ではありません。
今回は「心臓弁膜症」についてお話しします。

心臓には4つの部屋、すなわち左右の心房と心室があります。そしてそれぞれの部屋の出口には必ず逆流防止のための“弁”が存在します。弁膜症とはその“弁”の不調のために生じる狭窄や逆流によって心臓に負担がかかることをいいます。狭窄部（狭いところ）を血液が通過するときや、逆流する血流によって雑音が生じるのです。

弁膜症が進行すると、動悸や息切れ、胸の痛みなどの症状が出てきます。多くの場合、これらの症状はゆっくりと進行していくため、はっきりと気が付かないことがあります。無症状でも心臓には負担がかかっているのです。中には健診の診察で心雑音を指摘されて初めて弁膜症に気付く人もいます。

弁膜症の原因として、かつてはリウマチ熱の後遺症によって生じることが多かったのですが、現在は抗生物質の普及によりリウマチ熱による弁膜症は減少しています。一方、加齢に伴う弁の変性や石灰化による高齢者の大動脈弁狭窄症という心臓の出口が狭くなる弁膜症が問題になっています。

弁膜症が進行した場合には手術が必要です。悪くなった弁の代わりに、人工的に作られた弁や他の動物から得られた生体弁（豚の弁や牛の心膜）を使います。前述した大動脈弁狭窄症では、開胸手術だけではなくカテーテルを使った侵襲の少ない治療も普及してきています。

弁膜症はなかなか気付きにくい病気でもありますので、家族の人が気付いてあげることも大切です。心雑音など指摘されたらすぐに専門医にご相談ください。

内科・循環器内科 ふるしまクリニック



診療科目／内科・循環器内科
診療時間／月・火・木・金曜日 9:00～12:30、15:00～18:00
水・土曜日 9:00～12:30
休診日／日曜、祝日
所在地／中央区姥ヶ山5-6-20
電話／025-257-7070

[ふるしまクリニック](#) [検索](#)